

こすど公民館報

公民館 知日円所
 小須戸町公民館 良15刷
 野月部 15刷
 間部 15刷
 毎部 15刷
 昭栄堂 印刷

去る十月五・六両日わたって、南魚沼郡湯沢町公民館において県下の公民館長研修会が開催されました。
 当町からは間野中央公民館長と森田副館長の二名が参加しました。

住民の参加なしに 公民館は成り立たない ～53年度新潟県公民館長研修会～

第一日は「公民館の人的体制」と「事業の展開」の二つが中心であり、それぞれ活発な論議が展開されました。
 第二日は全体会合のあと、全国公民館連合会理事の朝比奈博先生、「地域づくりを果たす公民館経営のあり方」と題する講演があり、多大の感銘を与えられました。
 その概要を町民の皆さんにご紹介して今後一層のご理解とご協力をいただく資としたいと思えます。

公民館本来の使命は地域づくりの一語につきる。毎年全国各地で五百余館の公民館が新しく建設されているが、立派な館（やかた）はできて果たしてその内容はどうか。草創時代よりどれだけかの進歩があったであろうか。

公民館は地域づくりの課題として、新しい時代の潮流として住民を抜きにした地方自治は行われない。その半面を担うのが公民館である。したがって、住民の参加なしの公民館は成り立たない。それだけに市町村の理事者は公民館に深い理解をもたねばならないし、また公民館は常に理事者へ社会教育関係の情報を提供するべきである。一般行政と公民館の共通した目指すものは次の通りである。

- 一、住民の生活環境をよくする。
- 二、住民の心身を豊かにする。
- 三、公民館経営論
- 四、公民館は運営にあらずして経営にあつてはならない。
- 五、企業との協力を図る。
- 六、公民館の自主性を保つ。
- 七、公民館の活動を地域に根ざす。
- 八、公民館の活動を住民の生活に結びつける。
- 九、公民館の活動を地域の発展に貢献させる。
- 十、公民館の活動を地域の文化の発展に貢献させる。



人の心は分らない
 心模様はあやのよう
 美あり醜あり不可思議の
 それを操る道しるべ
 コスモス咲いた秋の日に
 私は静かに考える
 私の過去をふり返る
 遠い草木を眺めつつ
 髪 秋風になびかせて
 語り明かした友の顔
 あゝ青春は短かくて
 一人 人のまごころを
 いつしか消える雲のさま
 人の心はわからない
 (親松)

囲碁・将棋の「道場」開設

【毎週火曜日公民館で】
 以前より毎週水曜日の夜に行われていた将棋クラブの例会と、このたび発足する日本棋院小須戸支部（囲碁）の例会が左記のように合同で開催されることになりました。初心者の方にも親切に指導しますので、お気軽にご参加下さい。
 日時 毎週火曜日午後七時～九時半
 会場 中央公民館二階会議室（和室）
 ※囲碁及び将棋の会に入会されたい方は、中央公民館事務局へお問い合わせ下さい。電話二三三四番

ことばと家庭 (四)

矢代田小学校長 橋 克己
 館報編集委員の依頼で三回にわたって「ことばと家庭」ということばで日頃私の思っていること、一端を述べてみました。今回は何故かこのことばを重視しているかという理由を申し上げ、この稿を終りたいと思います。
 そこで私は、教育には三本の柱があるというところを申し上げたい。そしてこの三本柱は、互いに補い合って何倍もの効果を生むものである。また、この三本柱は互いに侵すことのない、互いに支えあっている、その柱でなければ発揮し得ない力を持つている。

文化講演会 第一弾開催

山崎 宏氏
 去る十月九日、中央公民館三階ホールで、東京教育大学名誉教授文学博士山崎宏氏の「歴史上から見た中国人」という演題で文化講演が行われた。氏は小須戸の佐藤五郎氏の奥弟で、ちょうど御家庭の私用で米原である。氏は通常大学院で二回位博士課程の学生に中国史の講座をもつておられるとのこと。その口は中国の原支那の土器より説きおこされ、現代の中国人の歴史、風土、気質について様々な例証をもつて静かに講演をされ、氏の熱意と造詣の深さ、また人間的な温みで聴衆と一体となり今迄にない雰囲気包まれて、今後の文化講演会に大きな希望が湧き、胸をふくらませた学習であった。

郵便局だより

郵政省では本年も米寿（八十八才）を迎えられた方全員に、郵政大臣のお祝いの挨拶状と記念品（湯のみ）を贈ることにし、小須戸郵便局では去る九月下旬、担当職員がこの挨拶状と記念品を持って左記の方々のお宅を訪問して手渡し「益々長生きして下さい」とお祝いをしました。
 本町一 佐藤徳次郎
 文京町一 松沢 キク
 中央町一 佐藤 ミチ
 中央町五 星 ハナ
 矢代田六 保科 キク
 (敬称略)

戸記 昔ばなし あれこれ

柏 大治
 一、文政十年六月八日昼火の玉が町中とどころろに飛ぶ。
 文政十一年三月十九日輪三（東京）に出現。
 八月十二日五時、大地震に当町大さき。
 三条の町中崩れ、其上火事にて焼死者千人余。良寛も心配して見舞状を出しています。
 (地震予知の参考になるかどうか)
 一、小僧時代に下興野の家へ事柄に招かれて行き、阿弥陀経の一巻も上げて来れば良い行事です。ところが、掃りが大変でも、もどるにもどられず、しかも現在のように畑など無く、アシといわす、シといわす丁度うでこきと下興野の中間にさしかかると、怪しいものが現れました。
 当時は着物に下駄ばきです。最初に現れたものが一丈五尺もあるチョウチンよりちょっと開いたもので、これは人間ではない

にご加入の方の福祉を増進するための施設（簡易保険保養センターなど）を設けていますが、特に高齢の方のためには、健康の保持増進心の保養の場として加入者ホームを設けて皆さまのご利用をお待ちしております。
 ◆郵便局では昭和五十四年新年用お年玉つき年賀はがきを十一月六日（月）から発売します。
 発売するはがきは、寄附金つき二十一円と寄附金なし二十円の二種類です。
 意匠は寄附金つきが「おぞろに」寄附金なしは「輪扇模様」です。発売枚数は小須戸局で二十万五千枚です。売り切れないうちにお早めにお買い求め下さい。

道では風雨があつて、汚ない仕事を終ると入ったようです。この年に限って流水が流れて来ません。水道の故石井さんが柏さん、二日も三日も流水らしいものがあるという話です。
 おれの仕事だから拾って焚き物にした方が良く推しました。
 幸い小舟があります。しばらくすると流水でなく青い顔をした死人だという話です。
 老人の死体でした。縄を用意して、そつと足をしばって引いてきました。ところが石井さんが一足先に岡に上ったので、すから、バランスが崩れて私も死体にはされてしまいました。
 当時の川は深いもので、すから私の方が先にお陀仏になりそうでした。早速、警察と医者に連絡。私は警察が死体を柏帯だとか遺留品を保管しなければならぬ責任者は町長だからと思つていました。
 身元がすぐわかつて印章をとられなかったのが、お経の一巻ぐらいあげてやると必ずといってよいほどお礼に来ます。それがまた有難くないのです。
 水道の発展に一生を尽くされ、若くして死んだ故石井さんのご冥福をお祈りいたします。

野球大会盛ん！ 今年から職場対抗も

◆第五回町長杯 争奪野球大会
 一位 美嶋ニッポ
 二位 勤協サニー
 三位 水田 中学校
 中位 学校
 ◆第一回親善 野球大会
 一位 理研弘進
 二位 美嶋ニッポ
 三位 ニット吉川 役場
 ◆第三十二回県知事杯 下越大会優勝!!
 }小須戸クラブ!
 去る九月二十四日、村松町野球場で県知事杯が行われ、決勝で五泉東芝化学に延長十回二一でサヨナラ勝ちした。

